

(林 幹太先生)

認定医講習会を受けている頃は、正直なところ専門医についてはそれほど関心があった訳ではありませんでした。

しかしIIRDに入会させて頂き、自由な意見交換ができる会の空気のなか、多くの新たな刺激をうけ少しずつ専門医への意識が高まっていったように思っています。

プレゼンテーション試験では様々な先生方から懇切丁寧なご指導を受け、さらに専門医試験の折には本番さながらの模擬口述も行って頂きどんなに心強く、自信になったか解りません。

専門医というタイトルは合格するまでにお世話になった方々への恩返しであり自分自身へのご褒美だと思っております。

今後もお世話になりました先生への感謝の気持ちを忘れずに日々の臨床に取り組んでいくと共に専門医に甘んじることなく一層の研鑽を積んでいく所存であります。

今後とも変わらずご指導、ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

来年度、受験される先生におかれましては遠慮なく諸先輩先生に御指導を仰ぎ晴れて全員合格されることを心よりお祈りしております。

この度は本当に有難うございました。